

2009年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回（5月15日）	「Thinking about Change in Welfare States」 Chris Grover 博士（ランカスター大学講師：社会政策）
第2回（6月23日）	＜私の研究＞ 「アメリカ自動車メーカーの転換」—現在進行中の労働条件の切り下げを中心に— 大野 威（産業社会学部教授） 「社会調査における質的データの活用」—自由記述・新聞記事・インタビュー等対象とする『計量テキスト分析』— 樋口 耕一（産業社会学部准教授）
第3回（7月3日）	「Persisting Inequalities in South Asia」 Subhangi Herath 博士
第4回（7月10日）	「国際分野における人材育成」 立山 桂司（インターワックス CEO）
第5回（7月31日）	＜私の研究＞ 「〈出来事〉としてのメディア文化」—想像の協働体を支えるモノ— 瓜生 吉則（産業社会学部准教授） 「メディアとしての映画館」—映画館のテレビ化現象の行方— 神谷 雅子（産業社会学部教授）
第6回（12月1日）	＜私の研究＞ 「2004年、2009年改革による基礎年金制度の給付水準と改革のゆくえ」—非経路依存変化類型に依って— 鎮目 真人（産業社会学部准教授）
第7回（12月10日）	「韓国の市民社会」—『格差』と『希望』— 桔川 純子（日本希望製作所事務局長、成蹊大学非常勤講師）
第8回（1月22日）	＜私の研究＞ 「学校音楽教育研究において潜在的カリキュラム研究とは何か」—カリキュラム社会学とカリキュラム経験研究— 笹野 恵理子（産業社会学部准教授） 「新採教師の頃」—『主体性』と『責任』のはざま— 中西 仁（産業社会学部准教授）
第9回（2月8日）	「韓国における家族病理と支援」 李 寅洙（祥明大学校福祉相談大学院教授）
第10回（3月2日）	＜定年退職記念研究会＞ 「階級性（経済）・公共性（政治）・共同性（生活）と住民自治」 中川 勝雄（産業社会学部教授）
第11回（3月23日）	「ヨーロッパにおける近年の韓国研究」 Professor. Brughart Sabine（オーストリア・ウィーン大学、東アジア研究所、教授）
第12回（3月30日）	「ヨーロッパにおける日本研究の現状と課題」 Dr. Wolfram Manzenreiter（オーストリア・ウィーン大学、東アジア研究所、日本研究センター、主任研究員）